



中村ロータリークラブ

例会記録 (2013～2014)

会 長/大 塚 和 助

幹 事/稲 田 玲 子

会報委員長/門 田 勝 利

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2346

第2477回 平成26年3月12日(晴れ)

本日のプログラム: 会員スピーチ 越智 隆会員

3月19日(水)のプログラム: 美化ゾーン野外例会

3月26日(水)のプログラム: クラブ臨時総会

【会長挨拶】大塚会長

- ・3月は別れの季節と申しますが、残念なお知らせです。先週の鍋島会員に続いて、富士火災の越智会員と四国労働金庫の野村会員が転勤ということで3月末日をもって退会となりました。3名様とも短い間でしたがいろいろとありがとうございました。なお、4月は出合いの季節ということで後任の方々にも入会をお願いします。
- ・15日は阿波徳島RCの創立10周年記念式典に出席してきます。翌日の日曜日は、親睦野球大会で私は賑わかし、ということで戦力にはなりませんよろしくお願いします。
- ・本年度、大杉ロータリー財団の目標でありました、全員100ドルの達成と同時に、認証ポイントの申請により「100%ポールハリス・フェロー」を達成することができました。大杉財団委員長はじめ会員の皆様に感謝申し上げます。
- ・来週は野外美化ゾーン例会、来々週は定款、細則の改正及び内規の一部改正ということで、クラブ臨時総会といたします。

【幹事報告】 稲田幹事

- ・岡崎晋伍会員がリハビリ入院をされましたのでお見舞いに行ってきました。
- ・ガバナー月信に当クラブの松田、佐竹、浦田会員のPHF受賞報告が掲載されています。
- ・仁淀RCより5クラブ親睦ゴルフコンペのご案内 5/11(日)10時～グリーンフィールゴルフ倶楽部
- ・四万十市より四万十川一斉清掃参加協力をお願い 4/6(日)8時～9時 各清掃区に集合

【委員会・会員発言】 大杉財団委員長

皆様のお陰をもちまして、全員PHFを達成することができました。これも一重に皆様方のご協力のお陰さまと感謝しています。ありがとうございました。

青木親睦委員長

鍋島会員、越智会員、野村会員の送別会を開催します。多数のご出席をお願いします。

3/21(金) 6:30～ 中村第一ホテル(八雲)

一藤会長エレクト

来期のクラブ研修リーダーに明神会員を選任しましたのでご報告いたします。



【本日のプログラム】 越智 隆会員



「大規模災害発生時の資金対策について」

皆様、こんにちは。いきなり移動の発表がありましたけれど、今日のスピーチのため資料を必死で創ってきました。

昨日で東日本大震災からまる3年が経ちました。被災者の方々がまだまだ苦勞されているということを改めて認識させていただきました。IMで青木さんが地震のことについて、素晴らしいスピーチをされたということを聞いておりますが、私も負けないように精一杯頑張ります。

さて、スライドと同じものを皆様のお手元に配付しております。「大規模災害発生時の資金対策について」というものです。震災があった場合、第一の悲劇と第二の悲劇というお話をさせていただいております。第一の悲劇は、被災され、お亡くなりになられた方。第二の悲劇は、資金等が足りずに未だに苦しい生活をされている方がいるということです。巨大地震の発生が予測されています。2013年5月に内閣府が発表した南海トラフ地震の被害想定では、経済被害220兆円、人的被害としては死者32万人という甚大な被害が予想されています。また、その30年以内の発生確率は、最大70%とのことです。まず、企業自身の対策が重要となります。企業自身の対策により想定される経済損失は2分の1に、人的被害に至っては5分の1に減少できるとのことです。また、中小企業の経営者の責任としては従業員の安全確保および災害復旧のための資金対策を最優先で準備しておくべきではないでしょうか。災害の際には資金繰りをどうするかを予測し、その対策を講じることが必要です。

2つの視点を御紹介します。

1つ目は、会社の資産の損害への対処です。これは会社の資産、たとえば建物や機械関係などが破損した際の復旧費用です。このための有効な対策は、保険付ファイナンス、つまり、貯蓄など資金面での対策です。

2つ目は、事業中断による損害への対処です。企業は売上の中から社員への給与や仕入れなどの経費を支払いますので、キャッシュでの対策が必要。つまり、運転資金の対策が必要となります。

大規模災害時の運転資金の準備として有効な手段、運転資金の準備に関する4つの手段を御紹介いたします。①公的支援制度など、万が一の際に利用できるものを確認しておく。②銀行等金融機関への預金（積立金）しておく。③福利厚生等の目的で加入する生命保険等で資金を確保しておく。④地震補償を付帯した火災保険を加入する。

次に、お手元の「定期保険はどのタイプ」の資料をご覧ください。①更新型、②減額更新型、③全期型、④年金支払型等があります。

保険の選択方法を御紹介します。目的がハッキリしているか、どの程度の補償が必要か、いつまで補償が続くのか、重複・付け忘れないか、入口と出口のバランスはとれているか、担当者がお役にたてるか等の観点から検討してみると良いのではないかと思います。

最後に、簡単にがんの治療に備える方法をお伝えします。3つのタイプの保険があります。①一時金で受け取るタイプ、②入院した日数分受け取るタイプ、③通院治療した日数分受け取るタイプがあります。

時間の都合もありまして、駆け足で説明させていただきました。

本日は、ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

越智会員：本日は私のスピーチを聞いて頂き、ありがとうございました。

野村会員：皆様、大変お世話になりありがとうございました。後任も入会してくれそうですので、引続きお願いします。

【出席報告】 ・会員総数51名（免除会員1名）

・本日の出席/28人 56% 先週の訂正 6M 60%→75%